

福 議 委 号
平成 2 7 年 5 月 2 5 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会 3 月会議（平成 2 7 年 3 月 1 0 日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 7 条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調査事件	(2) 町内埋蔵文化財等の活用方法等について
調査期間	平成 2 7 年 5 月 2 1 日 (1 日間)
出席委員	委員長 熊 野 茂 夫 副委員長 川 村 明 雄 委員 佐 藤 孝 男 委員 川 滝 川 明 子 委員 平 野 隆 雄 委員 溝 部 幸 基
欠席委員	なし
委員外議員	なし
出席説明員	町 長 佐 藤 卓 也 副町長 横 内 俊 悦 教育長 盛 川 哲 総務課長 中 島 和 俊 企画財政課長 谷 藤 悟 企画財政課参事 石 岡 大 志 水産商工課参事 小 鹿 一 彦 建設課長 木 村 大 文 生涯学習課長 阿 部 一 憲 生涯学習課長補佐 福 原 貴 之
議会事務局職員	議会事務局長 前 田 勝 広 議会グループ次長 住 吉 真由美 議会グループ主任 澤 田 元 気

[委員会意見]

調査事件 2 町内埋蔵文化財等の活用方法等について

(平成 27 年 5 月 21 日調査)

本調査は、これまでの埋蔵文化財の発掘調査における出土品の状況及び特徴を確認し、平成 28 年度末返還予定となっている館崎遺跡出土品の展示、活用、保管計画等を調査したものであり、その調査結果の主な内容は次のとおりです。

【調査の論点と意見】

(1) 保管計画について

- ① 旧白符小学校は鉄骨ブロック造のため、火災に対する十分な配慮が必要と考えます。従って、復元土器の保管箇所としては、火災時の延焼リスクが少ない図書室及び食堂が望ましいと考えます。また、説明内容から、当該施設が保管、展示の拠点になると考えられるので、管理体制をきちんと整えることが必要と考えます。
- ② 吉岡漁村環境改善総合センターの利用は、吉岡総合センターに関連するこれまでの議会及び吉岡地区説明会での「人命に危険」等の説明から、職員等の常駐はないにしても、当然、人の出入り（利用）はあるので、そのまま利用することに疑義があります。福島町生活改善センターの方が利用には適していると考えるので、再検討していただきたい。

(2) 展示・活用計画について

- ① 青函トンネル記念館での展示方法や見学のある方については、有効に活用されるよう現場と十分に協議し進めていただきたい。
- ② 出土品は貴重な町の財産です。学術的な展示・活用に加えて交流人口の増加に繋げる有効な施策も検討していただきたい。

(3) 総括的事項

- ① 施設の展示・保存に関する利用計画については、第 5 次福島町総合計画及び福島町公共施設維持保全計画との整合性をきちんと整理し説明していただきたい。
- ② 施設の活用に関し、財産管理（条例改正・財産区分）の考え方をきちんと

示していただきたい。

- ③ 補助事業により取得した施設の利用については、補助金等に係る予算の適正化に関する法律との関係を整理のうえ示していただきたい。
- ④ 保存・展示に向けた専門職(学芸員)の確保及びサポートする人的体制の充実を検討していただきたい。
- ⑤ 館崎遺跡については、世界遺産登録の可能性を視野に、人材育成・雇用対策も兼ねて町単独の周辺発掘調査事業として、地方総合戦略等で展開することも検討していただきたい。
- ⑥ 保管計画案では仮保管庫の位置づけの施設もあり、復元土器も分散保管となることから古民具等も含めた郷土資料館的な施設整備を視野に入れて検討していただきたい。

(4) 総体意見

本調査において、当町のこれまでの埋蔵文化財包蔵地における発掘調査の実績と出土品の特徴等を確認することができました。この中で、特に平成21年から平成23年に発掘調査が行われた館崎遺跡の出土品はその量、復元状況と特徴において、これまでのものと比べ相当に貴重なものであると認識しました。このような中で、教育委員会にあっては、館崎遺跡の保管・展示の施設利用について、当初は旧吉岡小学校体育館とし、その後吉岡総合センターに、最終的には公共施設維持保全計画において旧浦和小学校校舎・体育館及び旧白符小学校校舎にと方針を変更してきました。発掘調査後の北海道埋蔵文化財センターにおける出土品の整理・復元作業等を通じてきちんと情報共有していれば、前述したような施設利用方針にはなり得なかったと考えます。この間、議会においても、旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に関する調査特別委員会、公共施設維持保全計画に関する調査特別委員会及び本委員会の所管事務調査(町内施設等の視察)を行っていますが、教育委員会及び町から館崎遺跡の出土品を含めた重要性についての説明が一切なく、的確な議論ができなかったことは本当に残念です。教育委員会及び町は、このことを反省し論点整理した10項目について、精査のうえ検討していただき、当町の貴重な埋蔵文化財の展示・活用・保管が効果的に進められることを期待します。